

# 編集委員がインタビュー



オンラインを活用した  
地域活動で元気に過ごそう

コロナ禍で密閉・密集・密接の3密の回避や外出自粛などが長引く中、新しい生活様式を取り入れ、オンラインを活用したミーティングや講座などの活動が市内でも行われています。編集委員が参加者の方にインタビューを行いました。

## 高次脳機能障がい者家族の交流

全国的な家族の会とzoomで打ち合わせ。口頭から、オンラインヨガによる体操や共通した悩みなどの交流を行っています。

Q 普段苦労していることはどんなことですか。

A 専門の相談窓口が身近になく、高次脳機能障害の情報が正確に得られないことです。行政は生活支援が中心なので、医療的なりハビリできる施設が近くにあると嬉しいです。

Q オンラインで交流するきっかけは。

A 家族会と支援者とのオンライン交流を企画しました。高次脳機能障害の正しい情報を伝えていくことが重要だと考えています。

Q 今後はどのようなことを行っていきたいですか。

A 医師会の圏域である2市1町において家族会の交流などをしていきたいです。



インタビューにご協力いただいた方

玉木和彦さん  
吉澤美智子さん



## 介護予防のためのオンラインミニ講座

介護予防センター

オンラインによる講座は初の試みでしたが、介護予防センター会場での30名に加えてzoomによる20名、YouTubeによる10名の参加がありました。

Q いつも参加しているのですか。

A ここでオンラインは初めてですが、大学が市民向けに行っているものを含めると3回目です。今日のはすごくよかった。感激です。

Q 一番面白かったのは。

A 耳の話が良かった。身近なことでもなかなか聞けないから。ぴんしゃん体操も全てが良かったです。



インタビューにご協力いただいた方  
参加者の安達さん・小林さん

センター長 小泉智史さんの話

オンライン講座のために機材を揃えたり、職員がやり方を覚えるなどの課題もありましたが、たくさんの方に注目していただいていた方が嬉しいです。

